

2023年3月6日  
イオン株式会社

## 「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」の改定について

イオンは、本日、2020年6月に発行した「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」の3回目の改定を行いました。

本プロトコルは、防疫対策を一時的な取組みでなく継続的に実行していくことで、防疫が生活の一部となる社会を実現し、お客さま及び従業員の健康と生活を守り、お客さまとともに地域社会の「安全・安心」な生活を守ることを目的としています。

今回の改定は、これまで蓄積したデータや専門家の知見をもとに実施するものであり、イオンは、本プロトコルの目的を変更することなく、感染拡大の状況により防疫対策の内容を変えていくことで、地域のお客さまや従業員の感染リスク低減に努めてまいります。

### 【本プロトコル骨子】

#### ・感染予防の守るべき3つの施策

##### 1. 体調管理

従業員の体調管理は、継続して実施致します。また、お客さまが体調を確認出来るよう非接触式体温計等の設置を継続して実施致します。

##### 2. 換気の徹底

空気の滞留を防ぐため従来の換気に加え、サーキュレーターを設置することで空気の流れを作ります。また、換気状況を補足するため二酸化炭素濃度計も設置しています。

##### 3. マスク等による感染リスクの低減

お客さまへの不織布マスク着用のお願いは、行いません。

然しながら感染拡大時や混雑する場所では、不織布マスク着用をお願いをする場合がございます。

多くのお客さまと接している従業員については、不織布マスクの着用を継続致します。



イオン  
新型コロナウイルス  
防疫プロトコル

2020年 6月30日発行

11月11日改定

2022年 6月30日改定

2023年 3月 6日改定

<監修>

前世界保健機関 (WHO)

食品安全・人畜共通感染症部長

イオン(株)アドバイザー

宮城島 一明

医師・医学博士・感染症対策コンサルタント

和田 耕治

東京理科大学薬学部教授

堀口 逸子

早稲田大学理工学術院創造理工学部教授

田辺 新一

## 1. 本プロトコルの目的

イオンは、「お客さま第一」の基本理念のもと、企業市民として地域のお客さまとともに、地域社会の発展と生活文化の向上に貢献することを目指してまいりました。

これまで新型コロナウイルスの感染が流行している中で、イオンは、地域のお客さまとともに本プロトコルを一時的な取組みでなく継続的に実行してまいりました。

今後は、防疫が生活の一部となる社会を実現することで、お客さま及び従業員の健康と生活を守り、お客さまとともに地域社会の発展に寄与してまいります。

イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により防疫対策を実行します

イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します

イオンは、お客さまと一体となり防疫体制を構築します

イオンは、感染リスクを十分に検討し、現状のリスクに応じた対策を継続して実施してまいります

これらの施策により、お客さまにご不便をおかけすることもございますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

## 2. 今後の防疫体制にむけて

イオンは、これまで新型コロナウイルス感染に対する「完全な予防策」が無い中、様々な防疫の取り組みを組み合わせて実行することで感染リスクの低減を図ってまいりました。新たな防疫体制では、これまで蓄積したデータや専門家の知見をもとに、「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」の目的は変更することなく、感染の発生状況に対し最も適切な施策を選ぶことで地域のお客さまや従業員の感染リスク低減に努めてまいります。

## 3. 感染予防の守るべき3つの施策

### (1) 体調管理

従業員の体調管理は、継続して実施致します。また、お客さまが体調を確認出来るよう非接触式体温計等の設置は継続して実施致します。

### (2) 換気の徹底

空気の滞留を防ぐため従来の換気に加えサーキュレーターを設置することで空気の流れを作ります。また、換気状況を補足するため二酸化炭素濃度計も設置しています。

(換気促進を周知するため二酸化炭素濃度計(目標値 800ppm 以下)で定期的に計測します。)

### (3) マスク等による感染リスクの低減

お客さまへの不織布マスク着用のお願いは、行いません。然しながら感染拡大時や混雑する場所では、不織布マスク着用をお願いをする場合がございます。

多くのお客さまと接している従業員については、不織布マスクの着用を継続致します。

## 4. 具体的取り組み

### (1) 体調管理

＜従業員の取り組み＞

#### ① 体調管理の徹底

毎日出勤前に体調管理チェックを実施します。

発熱、頭痛、嗅覚・味覚異常、鼻水・鼻づまり、咳、のどの痛み、吐き気・嘔吐、呼吸が苦しい、倦怠感、筋肉痛、下痢のような症状のある従業員は出勤しません。

#### ② 出勤から退勤・帰宅まで飛沫感染及びエアロゾル感染防止のため屋内の会話を行う場では、マスクを着用します。

#### ③ 接触感染防止のため必要に応じ、手洗いと手指の消毒を実施します。

#### ④ 従業員自ら積極的に新型コロナウイルスワクチン接種を行います。

＜お客さまへのご案内＞

入口に手指の消毒と検温が可能なよう非接触式体温計を設置しています。

(非接触式体温計の設置が無い店舗は、サービスカウンターで実施しています)

### (2) 換気の徹底

＜施設の取り組み＞

#### ① ショッピングセンター（SC）全体

イオンの施設の多くは、エアコンとは別に機械換気システムを備え一定の割合で施設内の空気が入れ替わるように外気を取り込んでいますが、空気の滞留を防ぐためサーキュレーター等で常に空気が流れる環境をつくります。

また、大型SCでは、デジタルサイネージにて混雑度もお知らせします。

混雑時には、出入口等にサーキュレーター等で空気の流れをつくります。

#### ② フードコート・レストランゾーン

食事や会話を楽しむフードコート・レストランゾーンは、飛沫感染やエアロゾル感染の可能性を低減するため換気を促進する換気扇等を設置している他、高性能フィルターを完備した空気清浄設備を設置しています。

更に、サーキュレーター等で空気の流れをつくります。

#### ③ 映画館・フィットネスジム

閉鎖空間（※注）である映画館・フィットネスジム等は、サーキュレーター等を稼働させ換気を促進します。また、空気浄化を目的に映画館専用の大型空調用ウイルス対策システムとして(a) 空気中に漂う細かな埃や浮遊菌を徹底除去する高効率集塵フィルターMERV13フィルターによる捕集効果(b) 紫外線による照射分解効果で空気浄化をする機器の導入をしている他ゆったりと鑑賞出来るよう両サイドにひじ掛けを装備しています。

※注－閉鎖空間とは、区切られて窓等が無いいため外気を直接取り入れられない空間

### (3) マスク等による感染リスクの低減

＜従業員の取り組み＞

#### ① 多くのお客さまと接している従業員については、不織布マスクの着用を継続致します。

＜施設の取り組み＞

#### ① フードコート・イートインコーナーでは、会話を楽しむお客さまへ飛沫防止アクリルボードを設置した座席を準備しています。

#### ② 従業員による拭き上げ清掃に加えお客さまも拭き上げが可能なようにかごやサッカー台等にアルコールとペーパータオルを設置しています。

## 5. お客さまへ感染防止策へのご協力をお願い

- (1) 入口に手指の消毒と検温が可能なよう非接触式体温計を設置しています。  
(非接触式体温計の設置が無い店舗は、サービスカウンターで実施しています)
- (2) 感染状況により混雑する場所で不織布マスク着用をお願いする場合がございます。
- (3) お会計時の電子決済やセルフレジのご利用を推奨します。
- (4) 体調がすぐれない場合は、ご来店せずにご利用可能な宅配サービスをご利用になることをお勧めします。

## 6. 検証について

イオンは、新型コロナウイルス防疫プロトコルを地域のお客さまと共有してまいります。また、専門家による科学的根拠とデジタルの活用により、自社内の新型コロナウイルス対策の取り組みを継続的なモニタリングと検証を実施し、感染防止策をより実効性の高いものすることで「安全・安心」なショッピングセンターの構築に努めてまいります

以上